

Systematic Position

体系的な立場

American Handbook of psychiatry アメリカ精神医学のマニュアル 1969

第1巻：一般概念、精神神経症および関連障害、機能的精神病

第2巻：小児期および青年期、心身医学、有機起源の障害、生物学的研究および人工的症候群、精神分析治療

第3巻：心理療法、理学療法、患者支援、コミュニケーション言語と理論的問題。

Silvano Arieti シルヴァーノ・アリエッティ (1914年, ピサ, イタリアー1981年, ニューヨーク)

精神科医 (統合失調症学者の一人)

ニューヨーク医科大学の精神科教授

ウィリアム・アランソン・ホワイト研究所の精神分析部門の指導者

アメリカ精神医ハンドブックの編集者

William Alanson White Institute ウィリアム・アランソン・ホワイト研究所

1943年設立

アメリカの精神分析思想の主流に抗議して精神分析理論と方法の新たな領域を探究

2001年に アメリカ精神分析学会から Psychoanalytic Community Clinic of the Year 賞を受賞

Because of the physical contiguity, similarity of subject matter, and Freud's seniority,

身体的に近くにいたこと、主題がと似ていたこと、フロイトのほうが年上であったことから、

Adler's Individual Psychology was usually classified

アドラーの Individual Psychology は、通常、(as 以下のように) 分類された。

as a variant of psychoanalytic theory and therapy.

精神分析理論と治療のひとつの型として

In recent years, however, better classifications have been introduced.

近年、しかしながら、より良い分類が導入された。

Adler has been designated as "the ancestral figure of the 'new social psychological look'"(p.115);

アドラーは、『新しい社会心理学の型』の先祖の人物」として (as 以下のように) 示された。

as among those advancing a "pilot" rather than a "robot," view of man, where man is largely master of his fate(p.597);

人間はおおむね自分の運命の主人であり、「ロボット」よりむしろ「パイロット」であるという人間観を発展させた人々の中の一人として

●アドレリアン 1(1)p.5 アドラー心理学の基本前提(1)目的論 (野田俊作) より

ライフスタイルとやわらかい決定論

●ウィキペディアより

運命論とは 世の中の出来事はすべて、あらかじめそうなるように定められていて、人間の努力ではそれを変更できない、とする考え方

as probably the first among the "cognitive change theorists of psychotherapy"(p.357),

おそらく「心理療法の中の認知的な変化の理論家」のうちの最初のひとりとして、

which include Albert Ellis, Adolph Meyer, Fred C.Thorne, George A.Kelly, Rollo May, Viktor Frankl, and O. Hobart Mowrer;

そこには、アルバート・エリス、アドルフ・マイヤー、フルド・C・ソーン、ジョージ・アレクサンダー・ケリー、ロロ・メイ、ヴィクトール・フランクル、そしてオーバル・ホバート・モウラーが含まれている

●アドレリアン 1(2)p.50 アドラー心理学の基本前提(4)認知論 (野田俊作) より

認知療法家ハロルド・ワーナーは、アメリカの認知論的心理学の歴史について述べる中で、「1911年ごろウィーンで、アルフレッド・アドラーとジグムント・フロイトが、他年にわたる協力関係に終止符を打って、袂を分かった時が、認知論の真の出発の日であったと言ってよい」と書いています。

as the first among the "third force humanistic psychologists"(p.ix);

「第三勢力の人間学派の心理学者」のうちの最初の一人として

●11月7日野田先生の資料2

●アドレリアン 1(1)p.10 アドラー心理学の基本前提(2)全体論 (野田俊作) より

19世紀末のドイツの哲学者ディルタイが、「自然は(自然科学的に)説明され、精神は(人間学的に)了解される」と述べて以来、人間精神の研究に自然科学的アプローチを用いることの限界が認識され、新しい別の研究方法が探究されてきました。アドラー心理学もこの『人間学』的アプローチの中のひとつなのです。

as advancing a "fulfillment model" rather than a "conflict model" of personality(pp.17-19);

人格の「葛藤モデル」ではなく「達成モデル」を進めたとして

●プログラム学習による心理学入門より

人格理論 正統精神分析派

新フロイト派 ホルネイ、フロム、エリウソン、カーディナー、トンプソン

フロイトと決別した理論家 アドラー、ユング

フロイトと直接関係のない人々 サリバン、ロジャース、マズロー、ミラー、ドラード

and as representing the philosophy of the Enlightenment.

啓蒙主義のひとつとして

●無意識の発見 (下) p274

●ウィキペディアより

啓蒙主義とは 理性による思考の普遍性と不変性を主張する思想

ロマン主義とは 理性偏重、合理主義などに対し感受性や主観に重きをおいた一連の運動

In these various designations Adler is always found in a group opposed to Freud.

これらのさまざまな称号のなかで、アドラーは、フロイトと対比されたグループで、常に見つかります。

In sum they support the statement

要するに彼らは (that 以下の) 主張を支持しています。

that Adler originated a system of psychotherapy

アドラーは (in which 以下) の心理療法のシステムを始めたという (主張)

in which a mechanistic medical model of the functional disorders was replaced,

機能性疾患のための機械的な医学モデルが (not by~but by~によって) 置き換えられた

not by resorting further to the natural sciences,

自然科学に頼りすぎることによってではなく

but by aligning itself with the humanities or human studies(Geisteswissenschaften)

人文科学や人間の研究と同列に置くことによって

as described by Wilhelm Dilthey and Eduard Spranger,

ヴィルヘルム・ディルタイとエドゥアルト・シュプランガーにより説明されているように

while keeping well aware of the somatic aspects.

一方では身体的な側面に十分に高い意識を保ちながら

●機能性疾患 — 器質性疾患